

# 東遠学園組合 児童発達支援センター 外来療育 支援プログラム

## 親子通園ぷちとまと・並行通園とうもろこし【共通】

事業所名	こども発達センターめばえ	作成年月日	令和8年4月1日
事業所理念	児童発達支援の適正な運営を確保するために運営に関する事項を定め、利用児及び利用児保護者の意思及び人格を尊重し、その立場に立った適切な児童発達支援の提供を行います。		
支援方針	利用児が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応する事ができるよう発達状況に置かれている環境に応じて効果的な支援を行います。また、利用児の意思決定支援に配慮するよう努めます。		
療育提供時間	親子通園ぷちとまと 8:45~10:30、並行通園とうもろこし 14:00~15:45	送迎実施	なし
家庭支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の家庭生活の中でこどもへの関わり方や対応について共有し、悩みに寄り添い、こどもの成長についての専門的視点からのアドバイス等を行います。</li> <li>保護者向けの座談会を設け、テーマを決めて情報提供や勉強会を行います。</li> </ul>		
移行支援	保護者の思いを確認しながらこどもの発達に応じて関係機関と連携し、就園や必要に応じて就学の際に、園や学校への引き継ぎ等を行います。		
地域支援・連携	所属園へ訪問し、園の先生とあられや支援方法を共有します。		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>療育後のカンファレンスでこども一人ひとりのあられや家庭からの情報を共有し、適切な支援方法を探り活動内容を検討しています。また、月1回職員研修を実施しています。</li> <li>外部研修への参加や関係機関との連絡会を開催し、連携を図っています。</li> </ul>		
主な行事等	水（プール）遊び・クリスマス会・おたのしみクッキング		

# 親子通園 ぷちとまと

親子通園ぷちとまとでは、親子で楽しみながら、様々な活動を経験する中で、親子の愛着関係を深め、こどもの発達や成長を促します。はじめての活動に戸惑う子ども、回数を重ねる毎に好きなことが見つかっていくと思います。職員も、お子さんの気持ちに寄り添いながら、楽しめる方法を保護者と一緒に見つけていけたらと思っています。

## 活動の流れとねらい

時間	活動	ねらい
8:45	自由あそび 担当とのおはなし	ねらい ①：健康・生活 ②：運動・感覚 ③：認知・行動 ④：言語・コミュニケーション ⑤：人間関係・社会性 ○好きなおもちゃや、保護者・職員と遊ぶことで部屋の雰囲気慣れる。 ⇒活動への安心感を高めます。
9:15	はじめの会 あいさつ・呼名 おはなし・楽器	○椅子、または保護者のお膝に座ってお話を聞く。 ⇒楽しみながら“見る・聞く”経験をします。 ⇒絵本や歌、楽器への興味を引出します。
9:25	ふれあいあそび	○歌に合わせたスキンシップで、大人からの心地よい刺激を味わう。向き合ってじっくりと遊ぶ。 ⇒“一緒”に遊ぶ楽しさを感じることで、“もっと”の要求や期待感を引き出します。
	リズム運動・体操 バルーン・シーツブランコ等 ※グループに合わせて内容を決めていきます	○歩いたり、走ったり、くるくる回ったり…いろいろな身体づかいを経験する。様々な感覚を経験する。 ⇒保護者と手をつなぐ、真似をするなど、周りへの気づきを引き出します。
	トイレタイム 水分補給	○一人ひとりのお子さんの様子に合わせて、オムツ交換やトイレへ座る経験をする。 ⇒安心感・意欲を大切に、無理のない経験に繋がります。
9:45	☆主活動 小麦粉ねんど・サーキット運動・ボールプール・紙風船・水（7・8月）・園庭等	○目・肌・耳で様々な感触、感覚を感じる。 ○紙をちぎる、粘土を触るなど、手指を使って遊ぶ。 ○一本橋やトランポリン、すべり台など、遊具を使って、様々な身体づかいを経験する。 ⇒遊びを通して、楽しい・うれしい気持ちを親子で味わいます。 ⇒様々な遊びの経験を通して、好きなことを探します。 ⇒個々に合った関わり方や、遊び方を見つけます。
10:05	おやつ	
10:15	おわりのあいさつ 担当とのおはなし・自由あそび	
10:30	終了	



# 並行通園 とうもろこし

並行通園では…「一人ひとりが主人公」を目的に取り組みます。こども自身の選択や発言の機会を大切に、自己発揮できるように認める声掛けをたくさんしていきます。具体的なねらいとしては、

- ・期待感をもち、並行通園の場を楽しむ。
- ・わかりやすい呈示で、安心感がもてる。活動内容を「わかった」と感じる。
- ・「できた」達成感を味わう。

認められる経験を積み重ね、自信をつける。

- ・対大人との関わりを基盤に、やりとりを充実させる。

…等があります。

## 活動の流れとねらい

時間	活動	ねらい ①：健康・生活 ②：運動・感覚 ③：認知・行動 ④：言語・コミュニケーション ⑤：人間関係・社会性
14:00	シール貼り 今日の予定の確認 (親子で確認) 自由あそび (保護者の見守りの中で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりに合わせた分かりやすい呈示や声掛けを手掛かりに、支度をやりきる。</li> <li>・好きなおもちゃや保護者・職員と遊ぶことで部屋の雰囲気慣れる。</li> </ul>
14:15	保護者と分離する。 始めの会 (挨拶・出席確認・絵本・活動発表)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認められて嬉しい気持ちを味わう。</li> <li>・グループの友達を知る。</li> <li>・注目する、聞く姿勢をつくる。</li> <li>・見通しを持つことで、安心して主体的に活動に参加する。</li> </ul>
14:30	主活動 制作 小麦粉粘土 おえかき サーキット運動 集団あそび等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人と一緒に楽しみながら、手先使いの経験をする。</li> <li>・工程をわかりやすく伝え、理解につなげる。</li> <li>・「できた」「やりきった」達成感と「もっとやろう」という意欲を育む。</li> <li>・職員や友達とのやりとりを経験しながら、イメージや興味の幅を広げる。“一緒”に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・手足に力を入れる、バランスをとる、全身を使う、足元に注目する等様々な身体使いを経験する。</li> <li>・ルールや順番のある遊びを経験する。</li> </ul>
15:10	にじいろカードでの振り返り 終わりの挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかった活動について言葉で伝え合う経験をする。</li> <li>・家庭に帰ってから家族、園の先生に見せて褒めてもらう。</li> </ul>
15:15	担当との話 自由あそび (保護者の見守りの中で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園や家庭の姿を共有し、支援の共通理解を深める。</li> <li>・好きな遊びを見つける・広げる。</li> <li>・大人を介して順番や貸し借りを経験する。</li> </ul>
~15:45	終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使ったおもちゃを片付けて帰る。</li> </ul>

